

天



使



氷

Utoro,
Hokkaido

の

下

の

北海道 PART#02 知床半島・ウトロ

前回の北海道パート1でご紹介した
積丹半島から札幌に戻り、
次に向かったのは北方領土が目の前に迫る、
世界遺産・知床半島。
海の天使・クリオネのすむ、
氷の下の神秘の世界へ……。

撮影：越智 隆治
構成：文 寺山 英樹
取材協力：MIZUNO (ミズノ) ウェーブ
特別協力：商船三井フェリー
デザイン：Ranmar Design



サッポロ発アビウエーブの流水ツアーに同行取材!

クリオネ。

海の天使。あるいは、妖精と呼ばれる、ダイバー憧れのアイドルに逢えるのは、国後島の一部よりさらに北に位置する知床半島の氷の下。

半島東の羅臼と西側の宇登呂が、いわゆる“流水ダイビング”のメッカだが、今回取材班が潜ったのは後者。

遠くサハリンからオホーツク海を渡ってやってくる流水は、例年2月から3月にかけてウトロに接岸。風や天候の影響を受けやすい流水のコンディションを見極めつつ潜る流水ダイビングは、限られた期間にしか潜れない、一度は潜ってみたいプレミア

ムなダイビングスタイルといえる。

取材班のトド遭遇の幸運は続いており、訪れた2月後半はグッドコンディションで、岸から沖にかけて見渡す限り白銀の世界。この美しくも浮世離れたシーンを見てみると、沖縄の海からここ流水南限の海まで、日本の海のスケール感を思わずにはいられない。

流水ダイビングというと、氷に穴を空け、ロープを垂らして潜る、ワカサギ釣りの人間版といったイメージだったが、意外なことにビーチエントリー。

がっつり接岸し、流水と岸が強固に地続きになる“完全氷結”という状態になる

氷遊

Ice Play

びび



ビーチエントリーで氷の下を進む



02



01

01、硬い氷はチェーンソーで切り裂く
02、一致団結し、砕いた氷をよけてエントリー口を作る

ドキドキ……
落ちないように
ゆっくりゆっくり



03



04

と、イメージ通りの潜り方になるが、温暖化の影響もあって、ひと昔前のように完全氷結することは少ないそう。そこで、陸上からある程度固い氷はチェーンソーなどで穴を空け、あとは、人力で氷をかき分けながらビーチエントリーするスタイルだ。

氷を目の前にして、ダイバーたちは、薄い氷の上を歩いてスリルを楽しみロシアン・ウォーキングを試みたり、ジャンプして氷を踏んづけて割ってみたり、遊びながらエントリー口を作っていく。ノンダイバー向けに、ドライスーツで氷の上を歩くツアーがあるくらいだから、こうやって氷と遊んでいるだけで、もう楽しい気分♪

ひとしきり、童心に戻って氷遊びをした後、砕けた氷を手で端へ寄せていよいよエントリーとなる。

03、そろそろそろりと薄氷の上を歩く。運が悪いとそのままだボン

04、エントリー口を作ったら、命綱を持ちながらダイビング

氷の下の天使！ 北海道 PART#02 知床半島・ウトロ

氷 幻

ICE ILLUSTION!!

地球の裏側に
立った気分♪

氷の裏に立ってみる。腰
から下のモヤモヤはケモ
クライン

氷の下の天使! 北海道 PART#02 しれとこ 知床半島・ウトロ
2013 Summer [Hokkaido Part2]

降

Advent of the angel

臨



「粉雪降る海に舞い降りる天使」。現実的にいえば、「浮遊物のハレーションの中見つけたハダカカメガイ」



粉雪降る海に、舞い降りる天使

命綱となるロープを握りしめ、氷をかきわけエントリー。胸の辺りの水深でかがんで、氷の下を泳ぎだすと、辺り一面モヤモヤとまるで屋気楼の中にいるみたい。

その正体は、流水から溶けた水と海水との塩分濃度の違いからできるケモクラインで、水深が深くなるまでしばらく続く。

やがて、水深10メートルくらいまでくると、視界はパッと晴れ、見上げれば、太陽光が氷に煌めき、ケモクラインが光をくゆらす、何とも言えない幻想的な世界。

さて、海の天使はどこにいるのだろうか？

陸で天使や妖精に逢おうと思えばピュアな心の目が必要だけど、海の天使に逢うのに必要なのは、ジャスト、目。1センチ前後の透き通った体を持つクリオネを見つけるには、目のピントを絞りながら辺りを注意深く、そして、願いを込めて見つめ続けるしかない。

中層をじっと見つめること10分ほど。果たして願いが通じたのか、粉雪舞う氷の世界に、海の天使が降りてきてくれたのでした。

今、流行の浮遊系がいっぱい



氷の下の天使！ 北海道 PART#02 しれとこ 知床半島・ウトロ
2013 Summer [Hokkaido Part2]

雪にシロップをかけた天然のかき氷は食べ放題!



潜る前に抱いていた疑問と、潜った後の感想をご紹介します。

流水ダイビング Before and After ビフォー・アフター



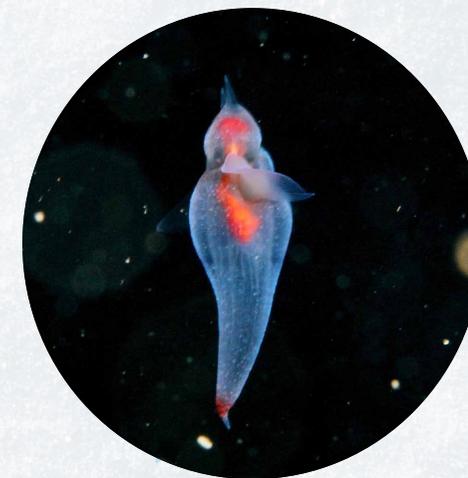
欲張り過ぎると頭がキーン!

💬 ハードなイメージがあったけど……

確かに、気温が氷点下、水温がマイナス1度を切る過酷な環境でイージーではない。しかし、プロレベルでないも潜れないかといえば、そんなこともない。ドライスーツで問題なく潜ることができ、スキルもしっかり“自分のことが自分でできるダイバー”ならOK。

防寒対策をしっかり行えば、水中での寒さは冬の本州を潜る程度に感じる。ただ、陸上へ上がってからが寒いので、陸上での防寒対策も忘れずに。あとは、安全対策をしっかり事前にシミュレーションができれば、楽しむだけ!

流水ダイビングで会いたい生物といえば、もちろんクリオネ



💬 装備が大変そうな気がしていたけど……

水温がマイナスになる海。当然、それなりの装備がいる。ドライスーツはいつものものでもOKだが、インナーはいつも以上に保温を考えた方がよいだろう。

その他、防寒のポイントは“できるだけ肌の露出をしないようにする”こと。通常の3ミリフードで潜ったが、顔の周りはやはり凍てつくように

冷たい。フルフェイスだとよいかもしれない。グローブは、多くのガイドがミトン型を使っていて好評だった。

レギュレーターは、通常のものでも潜れるが、かなりフローをする可能性が高くなる。なので、寒冷地専門のレギュレーターがオススメだ。

確かに装備は大変だが、最近のドライスーツやインナーは良く、通常の冬のダイビングより少し大きくなった程度に感じた。



北海道はでっかいど〜!

ダイビングの合間に漂流ウオーキング。360度、白銀の大パノラマ体験



氷の下にいるダイバーを上から撮った写真。氷遊びは続く……

💬 ダイバーなら一度は経験したいスタイル

流水の下はどんな感じなのか想像もつかなかったが、実際に潜ってみて、流水で見られない幻想的なシーンやクリオネなど、ダイバーなら一度は潜ってほしいダイビングスタイルだ。

他のダイバーたちも、「一度、潜ってみたかった」「クリオネに会ってみたかった」「恒例行事として毎年1回は潜っています」と、ある意味、イベントといった位置づけで、経験値を広げるという意味でも、ダイバー人生の中のイベントとしてオススメ。きっと、スキルや自信など、ダイバーとしてレベルをひとつ上げてくれるはず。

また、陸上では単純に、童心に戻って氷遊びでしゃぐのも楽しい体験だ。

⚠️ 流水ダイビングの心得

これはもう、ブリーフィングとシミュレーションに尽きる。命綱をつけて潜るダイビング、とにかく事前に潜り方をしっかり把握し、頭の中でイメージしておくことが大事。いつものようにサクッと潜るわけにはいかない。

また、事前に流水について調べておくと、より流水ダイビングを楽しめるだろう。

❓ 流水Q&A

➡️ <http://giza-ryuhyo.com/ryuhyoinfo/Q&A>

氷の下の天使! 北海道 PART#02 知床半島・ウトロ しれとこ
2013 Summer [Hokkaido Part2]

知床のススめ



- 町の中にはクリオネのネオンがあちこちに
- 01, 2 ~ 3月の期間限定で開催されるオーロラファンタジー
- 02, 知床を車で走っていると、普通にエゾシカが見られる。運がよければキタキツネやオジロワシが現れることも
- 03, ホテル「北こぶし」のバイキングでは、北海道の海の幸が一挙に楽しめる
- 04, 女子に人気のチョコレートフォンデュ

サッポロ発 世界遺産・知床の大自然

札幌から知床まではおよそ400キロ、8時間の旅。初めて知床へ向かう人にとって、それはただの移動ではなく、窓から見える景色はすべて新鮮。

網走やライトアップされた滝、クリオネの看板、そして、エゾシカやキタキツネなど、北海道らしい観光やシーンを楽しめる。

お世話になったアビイウェーブの場合、札幌からのツアーを開催しているほか、最寄りの女満別空港からピックアップしてくれる場合もある。



アビイウェーブのツアーに参加した北のダイバーたち。札幌を中心に、北海道のダイビングも意外と盛ん。本州ダイバーも機会があればぜひ！

北海道の味に舌鼓& 流水を見ながら温泉の極楽

アビイウェーブがいつも利用しているホテルは流水の海に面した「北こぶし」。この食事はバイキング形式で、海の幸はも

ちろん、ステーキ、スイーツなんでもござれで、男女共々大好評。また、全面ガラス張りの温泉から見える景色は流水の大パノラマ！露天風呂もある。

さらに、夜はオーロラショーが行われており、北の夜空がライトアップされる幻想的

なショーを楽しめる。

観光客のために、エントランスでクリオネがいっぱい入った水槽があるのが、これからクリオネを見に行くダイバーとしては微妙だが(笑)、ホテル滞在も流水ダイビングの楽しみのひとつ。

知床 Stay

札幌を拠点に潜るなら……

今回、取材班を完全サポートしてくれたのは、地下鉄から1分という抜群のアクセスを誇る「アビイウェーブ」。若き代表・西村伸人さんは北海道の海ならお任せの道産子ガイド。特にトドの海で修業を積んだ経験を活かし毎年トドツアーを開催している。その他、きめ細かいケアに定評のある(ケーキ作りと料理が得意♪)矢野達也さん、撮影のことならお任せの大川拓哉さんなど、どんなダイビングスタイル、講習にも対応できる布陣で完全サポート。

積丹半島を中心に潜っているが、流水ダイビングや前回紹介したトド・ダイビングのほか、淡水ダイビングの支笏湖などなど、札幌拠点に北海道を広く潜っている。

北海道ダイバーはもちろん、一度、北海道を潜ってみたいと思っている北海道以外のダイバーも、札幌の観光やグルメも楽しみたいならオススメ。海へのアクセスを考えれば料金的に



もリーズブルだし、何より初めての海へ自力で行くより、札幌からピックアップされ、ツアー全体をスケジューリングしてもらえらる快適さはありがたい。

アビイウェーブ
Avii wave
札幌市白石区南郷通7丁目北5-26
Tel.011-788-9832
support@aviiwave.com

北海道を潜る！ オーシャナ×アビイウェーブスペシャルプラン

1 夏の北海道を潜る
オーシャナ
スペシャルプラン



日本一の透明度を誇る支笏湖やウニのおいしい季節の積丹半島を潜るスペシャルプラン。本州ダイバーも北海道を旅しながら、ぶらりとダイビングも楽しめるお得なプランだ。

- ※詳細はこちらをクリック
- 積丹半島 >>> http://oceana.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/06/hokkaido_plan_2.pdf
- 支笏湖 >>> http://oceana.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/06/hokkaido_plan_1.pdf

2 トド&流水&グルメ
北海道
いいところ取りツアー



2014年2月、取材班がリサーチしたトドと知床の海を中心に、北海道のグルメ、流水を見ながらの温泉、観光スポットまで、一挙に楽しんでしまおうと欲張りなツアーを企画しました。トドだけ、流水とクリオネだけの途中参加も可能なので、この機会に、ダイバー目線で北海道のいいところ取りしましょう！

- ※詳細はこちらをクリック
- http://oceana.ne.jp/original_tour/hokkaido_diving

氷の下の天使！ 北海道 PART#02 知床半島・ウトロ